

科目名	助産学概論	
科目責任者	久保田 君枝	
単位数他	1 単位 (15 時間) 必修 通年	
DP 番号と科目領域	DP1 助産学基礎	
科目の位置付	建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた、高い倫理観と豊かな感性を取得し、隣人愛の実践者となるための素地を身につける。	
科目概要	助産師の役割や責務、専門性について理解するために、助産学の基本的概念や助産活動等を学ぶ。今日の母子を取り巻く社会環境、保健・医療制度あるいは助産活動等を諸外国と比較、歴史的変遷を踏まえ理解を深める。さらに、講義・グループワーク等を通して自らの助産観を育成する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助産の基本的概念を説明できる。</li> <li>2. こども家庭庁と母子保健活動（地域母子保健活動を含む）について説明できる。</li> <li>3. リプロダクティブヘルス・ライツの視点から、女性の健康と権利について説明できる。</li> <li>4. 助産師のコア・コンピテンシーと助産活動の意義および助産師の役割と責任について説明できる。</li> <li>5. 諸外国の出産ならびに助産活動について説明できる。</li> <li>6. わが国の児童虐待・子どもの貧困について説明できる。</li> <li>7. 助産学を構成する理論について説明できる。</li> <li>8. 討論を通して自らの助産観を表現することができる。</li> </ol>	
授業計画	第1回：助産の概念、こども家庭庁と母子保健活動 母子保健とリプロダクティブヘルス・ライツ 第2回：助産師のコア・コンピテンシーと助産活動 助産師業務と助産教育の諸外国の比較（討論） 第3回：出産の変遷、「変わりゆく出産、変わらない出産」 第4回：子どもの困難／児童虐待・子どもの貧困 第5回：諸外国における出産および助産（師）活動 第6-7回：性と身体の多様性とジェンダー 第8回：助産実践に役立つ助産理論とは（討論）	久保田君枝  久保田君枝  菊地 栄 菊地 栄 中山 綾 白井 千晶 久保田君枝 三輪与志子 鈴木 恵
アクティブラーニング	グループワーク、課題の発表	
授業内のICT活用	インターネットから必要な情報を検索し、学修に役立てる。 DVD を活用し、母子保健の理解に役立てる。	
評価方法	筆記試験 50%、レポート 50%	
課題に対するフィードバック	グループ・ワーク時のアドバイス、発表時のコメント レポート、リアクションペーパーへのコメント	
指定図書	『助産師基礎教育テキスト第3巻 周産期における医療の質と安全』成田伸編 日本看護協会出版会 『助産学講座1 基礎助産学 [1] 助産学概論 第6版』我部山キヨ子・安達久美子編 医学書院 『助産学講座4 基礎助産学 [4] 母子の心理・社会学 第6版』我部山キヨ子・菅原ますみ編 医学書院 『助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第6版』我部山キヨ子編 医学書院 『母子保健の主なる統計 [2024 ]』 母子衛生研究会編 『厚生指針の指標国民衛生の動向 2024/2025』財団法人厚生統計協会 『新版助産師業務要覧第4版 基礎編』福井トシ子編 日本看護協会出版会 『新版助産師業務要覧第4版 実践編』福井トシ子編 日本看護協会出版会 『新版助産師業務要覧第4版 アドバンス編』福井トシ子編 日本看護協会出版会	

書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
参考図書	『産み育てと助産の歴史』近代化の200年を振り返る 白井千晶著、医学書院 2016 『新助産学実践における科学と感性』レズリー・ページ著、鈴木江三子監訳、MC メディカ出版 『世界のお産生まれやすい国ニッポンへ!』きくちさかえ著、二見書房 2019 『WHO 推奨 ポジティブな出産体験のための分娩期ケア』医学書院 2021 『第14回産科医療補償制度 再発防止に関する報告書 産科医療の質の向上に向けて一』2024 赤ちゃんの「あたたかい心」を育むヒント 仁志田博司・大城昌平他、日本ディベロプメンタルケア研究会 2021			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・事後学修	授業で使う資料は授業時あるいは事前に配布します。事前・事後学修に活用してください。 こども家庭庁とこども家庭センターについて、事前学修してください。 諸外国における助産師教育と助産業務について、事前学修をしてください。 助産理論が助産ケアにどのように使われているか事前学修してください。 わが国の児童虐待、子どもの貧困について、予備知識をもって授業に参加してください。			
オープンエデュケーションの活用	成育基本法（厚生労働省） <a href="https://www.mhlw.go.jp/?content">https://www.mhlw.go.jp/?content</a> 助産師のコア・コンピテンシー 2021（日本助産師会） <a href="https://www.midwife.or.jp/?midwife?competency">https://www.midwife.or.jp/?midwife?competency</a> WHO 推奨 ポジティブな出産体験のための分娩期ケア - WHO ... <a href="https://apps.who.int/?WHO-RHR-18.12-jpn.pdf">https://apps.who.int/?WHO-RHR-18.12-jpn.pdf</a> 産師の声明・綱領 <a href="https://www.midwife.or.jp/?midwife?statement">https://www.midwife.or.jp/?midwife?statement</a>			
オフィスアワー	金曜日の午後 研究室 1715 久保田君枝 ; kimie-k@seirei.ac.jp			
実務経験に関する記述	外部講師は長年の教育経験や地域において活動家として豊かな実践を有している講師陣です。			
メディア授業の実施について	状況に応じて提示します。			

科目名	健康教育論			
科目責任者	久保田 君枝			
単位数他	1 単位 (15 時間) 必修 通年			
DP 番号と科目領域	DP3 助産学基礎			
科目の位置付	医療保健福祉の進歩を敏感に捉え、対象を全人的に捉え、ニーズに応えるための高度な診断能力および科学的根拠に基づいた質の高い助産技術と実践力を身につけている。			
科目概要	<p>健康の維持・増進のために、様々な環境にある対象が、主体性を発揮できるよう支援していくための保健指導や技術を学修する。そのために、健康教育と保健指導の概念や方法、行動変容を促すための理論を理解し、ライフステージにおける個人や小集団を対象とした健康教育と保健指導の意義と実践のプロセスを学ぶ。</p> <p>思春期の健康教育の企画書を科学的根拠に基づいた支援を立案し、演習に繋げる。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康教育と保健指導の概念を理解することができる。</li> <li>2. 健康教育と保健指導の方法論を学ぶことができる。</li> <li>3. 健康教育と保健指導の媒体について理解することができる。</li> <li>4. 思春期の健康教育の企画書をグループで作成し発表することができる。</li> <li>5. 家庭訪問の意義と方法について説明できる。</li> </ol>			
授業計画	第1-2回： 健康教育と保健指導の概念と方法論	久保田君枝		
	健康教育・保健指導の種類や方法論 個別・集団指導の種類等	久保田君枝		
	第3-4回： 企画書および指導案作成のための基本	久保田君枝		
	第5-6回： 思春期の健康教育の企画書および指導案の作成	久保田君枝		
	第7-8回： 地域における訪問活動(家庭訪問)の意義と基本的考え方	稲垣恵子		
アクティブラーニング	グループワーク、課題の発表			
授業内のICT活用	インターネットから文献検索や情報を得て、健康教育について学修を深める。 DVD を活用し、指導案に役立てる。			
評価方法	グループワーク 50% テスト 50%			
課題に対するフィードバック	グループ・ワーク時のアドバイス、発表時のコメント リアクションペーパーへのコメント、課題に対する討論			
指定図書	<p>『最新保健学講座 別巻1 健康教育論』 宮坂忠夫・川田智恵子・吉田亨編著、メヂカルフレンド社</p> <p>『助産師基礎教育テキスト第2巻 ウィメンズヘルスケア』 吉沢豊子他編、日本看護協会出版会</p> <p>『助産学講座2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 第6版』 我部山キヨ子・武谷雄二・藤井知行編、医学書院</p> <p>『助産学講座3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 第6版』 我部山キヨ子他編、医学書院</p> <p>『助産学講座4 基礎助産学 [4] 母子の心理・社会学 第6版』 我部山キヨ子・菅原ますみ編、医学書院</p> <p>『助産学講座5 助産診断・技術学 I 第6版』 我部山キヨ子・片岡弥恵子編、医学書院</p>			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
参考図書	<p>『行動科学健康づくりのための理論と応用』、畑 栄一、土井由利子編、南江堂 2009</p> <p>『参加型マタニティクラス BOOK』 戸田律子著、医学書院、2010.</p> <p>『助産師のための性教育実践ガイド』 川島広江・大石時子編集 医学書院 2005</p> <p>『家庭訪問型子育て支援ハンドブック』 家庭訪問型子育て支援研究会編集、明石書房 2013</p> <p>『これからのヘルスリテラシー健康を決める力』 中山和弘 講談社 2022</p> <p>『おもしろ健康教育のつくり方』 伊藤純子他 医学書院 2024</p>			

書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・事後学修	授業で使う資料は授業時あるいは事前に提示します。事前・事後学修に活用してください。 個々に保健指導案の作成を行い、自分の意見が言える準備する。 グループで個々の指導案の共有を行い、グループでの指導案を作成する。			
オープンエデュケーションの活用	令和3年版 子供・若者白書（全体版）（PDF版） - 内閣府 <a href="https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/pdf_index">https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/pdf_index</a> 乳児家庭全戸訪問事業ガイドライン - 厚生労働省 <a href="https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/kosodate12">https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/kosodate12</a>			
オフィスアワー	金曜日の午後 研究室 1715 久保田君枝 ; kimie-k@seirei.ac.jp			
実務経験に関する記述	臨床において、個別・集団指導の実践を有し、地域活動においても実践をしている。			
メディア授業の実施について	状況に応じて提示します			

科目名	子どもの成長発達と親子関係論	
科目責任者	市江 和子	
単位数他	1 単位 (15 時間) 必修 春semester	
DP 番号と科目領域	DP2 助産学基礎	
科目の位置付	助産師として必要な、人間や環境への思いやりを大切に、母子およびその家族を尊重し、助産師としての役割と責任を果たす能力を修得する。	
科目概要	親と乳幼児の良好な心身の発育・発達に必要な養育・看護に関する基礎的な知識と技術を学習する。そのために、小児の正常な成長・発達、特徴を理解し、子どもを支援するために、母子・父子関係の基本的な概念理論を学び、母性・父性の愛着行動の特質と親子関係を阻害する要因について学ぶ。	
到達目標	1. 小児の成長・発達が理解できる 2. 周産期における親子関係成立過程と支援方法が理解できる。 3. 乳幼児期における親子関係についての支援方法が理解できる。	
授業計画	<p>第1回：小児の成長・発達①：成長・発達の基本的な考え方 市江和子</p> <p>第2回：小児の成長・発達②：発達理論 エリクソン、ピアジェ、ブリッジスについて 市江和子</p> <p>第3回：小児の成長・発達③：成長・発達評価の意義と方法 市江和子</p> <p>第4回：胎児・新生児の神経行動発達 大城昌平</p> <p>第5回：親子関係を知る意義と親子（母子・父子）の関係性の発展過程と影響要因 藤本栄子 ・妊娠前 ・妊娠中 ・出産をめぐる ・育児期 母子関係についてはルービン、マーサー、鯨岡 峻ら、父子関係についてはグリーンバーグ等より学び、臨床における看護場面の理解を深める。</p> <p>第6回：親子の関係性を育む支援について 藤本栄子 ・早期接触 ・カンガルーケア ・母乳哺育</p> <p>第7回：乳幼児の発達・親の発達と親子関係への支援① 宮城島恭子 愛着の発達と親子関係に関する理論（ボウルビィ、エインスワース、マラー、等）について、現実場面における親子の様子と関連づけて理解する</p> <p>第8回：乳幼児の発達・親の発達と親子関係への支援② 宮城島恭子 第7回で学習した理論や低出生体重児と親における関係性の発達モデルの応用、および愛着形成を阻害する要因の理解から、親子関係への支援を考える</p>	
アクティブラーニング	「小児の成長・発達③、成長・発達評価と意義と方法」においては、小グループで演習を取り入れ、発達評価の演習を実施する。	
授業内のICT活用	インターネットから必要な情報を検索して学習をする。	
評価方法	授業・グループワークへの参加度 20%、課題レポート 80% ルーブリックは用いない。	
課題に対するフィードバック	「成長・発達」、「乳幼児の健康診査」に関するワークシートの課題について、授業の関係する講義内容時に、課題についてフィードバックを行う。	
指定図書	なし	

書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
参考図書	なし			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・事後学修	成長・発達に関するワークシートについて、事前学修を 40 分進める。適宜、ミニテストを実施するので、事後学修で復習を行う。			
オープンエデュケーションの活用	なし			
オフィスアワー	市江和子：金曜日 午前（1712 研究室） kazuko-i@seirei.ac.jp 藤本栄子：金曜日 12：00～13：00（1714 研究室:） eiko-f@seirei.ac.jp			
実務経験に関する記述	本科目は「看護師」の実務経験を有する講師が実務の観点を踏まえて教授する科目です。			
メディア授業の実施について	なし			

科目名	周産期学	
科目責任者	久保田 君枝	
単位数他	2単位 (60時間) 必修 通年	
DP番号と科目領域	DP3 助産実践	
科目の位置付	医療保健福祉の進歩を敏感に捉え、対象を全人的に捉え、ニーズに応えるための高度な診断能力および科学的根拠に基づいた質の高い助産技術と実践力を身につけている。	
科目概要	<p>助産の展開および妊孕性に関わる基礎的知識を学修する。</p> <p>女性生殖器の形態と機能の解剖学的・内分泌的・免疫学的特性を踏まえて、周産期の各ステージにおける正常・異常の診断・管理を学習し支援方法について理解する。</p> <p>そのために、1)周産期の正常妊娠・分娩・産褥の診断・管理や支援、2) 周産期の合併症、感染症、異常妊娠・分娩・産褥の診断・管理や支援、3)周産期の女性に投与される薬剤や実施される検査、4) 胎児の異常と出生前診断, 周産期の倫理 5)周産期のメンタルヘルスへの支援、6) 新生児の正常・異常の診断・管理に関する知識と援助方法等を学ぶ。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助産活動に必要な生殖系の形態・機能及びホルモン分泌機序について説明できる。</li> <li>2. 周産期のメンタルヘルスについて説明できる</li> <li>3. 周産期の女性に投与される薬剤や、実施される検査について説明できる。</li> <li>4. 婦人科合併疾患、がんについて妊娠・分娩・産褥と関連させて説明できる。</li> <li>5. 周産期における正常妊娠、正常分娩、正常産褥が理解できる</li> <li>6. 周産期における合併症、感染症、異常分娩への治療、医療介入について理解できる。</li> <li>7. 出生前診断、周産期の倫理について考察できる。</li> <li>8. 胎児、新生児の異常徴候と緊急手術について説明できる</li> </ol>	
授業計画	<p>第1-2回：胎児期から老年期までの生理的変化（ホルモンとの関係）</p> <p>第3-5回：性行動と機能・妊娠の成立</p> <p>第6-8回：周産期のメンタルヘルス</p> <p>第9-10回：周産期における主要な検査</p> <p>第11-12回：母子免疫と感染のメカニズム</p> <p>第13-14回：女性のがんと妊娠・分娩との関連性</p> <p>第15-16回：胎児の異常と出生前診断, 周産期の倫理 妊産婦死亡、産科医療保障制度</p> <p>第17-18回：正常妊娠とその診断・管理, 異常妊娠とその診断・管理 (妊娠初期から中期)</p> <p>第19-20回：正常妊娠とその診断・管理, 異常妊娠とその診断・管理 (妊娠後期)</p> <p>第21-22回：ハイリスク妊娠・分娩・産褥期の管理</p> <p>第23-25回：分娩期の診断・管理, 異常分娩の診断と管理 (主に分娩の進行に関わるもの) 急速遂娩（鉗子、吸引、帝王切開）</p> <p>第26-27回：分娩期・産褥期の診断・管理, 異常分娩の診断と管理 (主に出血および産科救急に関わるもの)</p> <p>第28回：産褥期の診断・管理、産褥異常の診断と管理</p> <p>第29-30回：胎児、新生児の異常徴候・疾患、緊急手術を要する新生児疾患</p>	<p>新原有一朗</p> <p>今野寛子</p> <p>堀 雅博</p> <p>野田恒夫</p> <p>濱田友里</p> <p>池端舞子</p> <p>村越 毅</p> <p>鈴木賢哉</p> <p>山田拓馬</p> <p>大西雄一</p> <p>精きくな</p> <p>清水由実</p> <p>織田愛実</p> <p>白井憲司</p>
アクティブラーニング	グループワーク ディスカッション	
授業内のICT活用	インターネットから文献検索や情報を検索して、学修に役立てる。	
評価方法	筆記試験 90%、レポート 10%	

課題に対する フィード バック	リアクションペーパーへのコメント			
指定図書	全ての指定図書を活用してください。			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
参考図書	『最新産科学・正常編』荒木勤著、文光堂 『エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期・産褥期』日本助産学会 『母体急変時の初期対応』第3版 MC メディカ出版 2020 『助産師ができる周産期のメンタルヘルスケア』江藤宏美編集、PERINATAL CARE 2022 年夏季増刊号 MC メディカ出版 2022 『帝王切開バイブル術前・術中・術後のアセスメント&ケアを時系列で網羅!』村越 毅編著、PERINATAL CARE 2018 年新春増刊 MC メディカ出版 2018 『見逃せない妊娠中の疾患 30』近藤英治編集、PERINATAL CARE 2023 年新春増刊号 MC メディカ出版 2023 『お母さんと赤ちゃんの生理とフィジカルアセスメント』中田雅彦編著、PERINATAL CARE 2024 年冬季増刊 MC メディカ出版 2024 『妊娠期別 産科救急ナビゲーション』松岡 隆著、PERINATAL CARE 2025 年新春増刊 MC メディカ出版 2025			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・ 事後学修	授業で使う資料は授業時あるいは事前に配布します。事前・事後学修に活用してください。 この授業は、参考図書、指定図書の関連箇所を事前学修、事後学修に活用して下さい。			
オープンエ デュケーシ ョンの活用	「エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期・産褥期 2020」 <a href="https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAM_guideline_2020_revised20200401.pdf">https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAM_guideline_2020_revised20200401.pdf</a> ビジュランクラウド ナーシングスキル			
オフィス アワー	金曜日の午後 研究室 1715 久保田君枝 ; kimie-k@seirei.ac.jp			
実務経験に 関する記述	この科目は臨床で実践経験を豊かに有している医師が講義を行います。			
メディア 授業の実施 について	状況に応じて提示します			

科目名	健康教育方法論
科目責任者	鈴木 恵
単位数他	1 単位 (30 時間) 必修 通年
DP 番号と科目領域	DP3 助産実践
科目の位置付	医療保健福祉の進歩を敏感に捉え、対象を全人的に捉え、ニーズに応えるための高度な診断能力および科学的根拠に基づいた質の高い助産技術と実践力を身につけている。
科目概要	母親が自分自身の問題として健康問題を捉え、解決できるように支援していくための保健指導や技術を学修する。そのために、健康教育の概念や方法を理解し、妊娠・分娩・産褥期における個人や小集団を対象とした健康教育の意義と実践のプロセスを学ぶ。また、出産各期の特徴や課題を理解し、事例を通して科学的根拠に基づいた支援を立案し、演習を行う。
到達目標	1. 妊娠・分娩・産褥期の特徴を理解し、保健指導や健康教育の目的・概念を説明することができる。 2. 小集団における健康教育活動の企画書を作成することができる。 3. 妊娠・分娩・産褥の時期に応じた教材・媒体を作成し、発表することができる。
授業計画	第1-4回：妊娠期の保健指導 鈴木恵 企画書・パンフレットの作成 第5回：妊娠期の保健指導発表 鈴木恵・久保田君枝・三輪与志子 第6-9回：分娩期の保健指導 久保田君枝 企画書・パンフレットの作成 第10回：分娩期の保健指導発表 久保田君枝・三輪与志子・鈴木恵 第11-14回：産褥期・産後4か月までの母子への保健指導 三輪与志子 企画書・パンフレットの作成 第15回：産褥期・産後4か月までの母子への保健指導発表 三輪与志子・久保田君枝・鈴木恵
アクティブラーニング	本授業は、ディスカッション、グループワークを行いながら妊娠・分娩・産褥期の保健指導用の企画書を作成し、その媒体としてのパンフレットを作成します。また、グループでまとめた保健指導の企画書についてプレゼンテーションを行います。
授業内のICT活用	グループ発表のプレゼンテーションは、プロジェクターを利用して行います。
評価方法	妊娠期、分娩期、産褥・新生児期・産後期の各グループ発表の内容、討議 50% 企画書、パンフレットの作成プロセス評価 25% レポート 25%
課題に対するフィードバック	グループワーク時の各グループへのアドバイス、グループ発表へのコメント、リアクションペーパーへのコメント等でフィードバックします。
指定図書	『最新 保健学講座 別巻1 健康教育論 第2版』宮坂忠夫・川田智恵子・吉田亨編 メヂカルフレンド社 『助産師基礎教育テキスト第2巻 ウィメンズヘルスケア』吉沢豊予子編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト第4巻 妊娠期の診断とケア』森恵美編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト第5巻 分娩期の診断とケア』佐々木くみ子編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア』江藤宏美編 日本看護協会出版会 『助産学講座2 基礎助産学[2]母子の基礎科学 第6版』我部山キヨ子・武谷雄二・藤井知行編 医学書院 『助産学講座3 基礎助産学[3]母子の健康科学 第6版』我部山キヨ子編 医学書院 『助産学講座4 基礎助産学[4]母子の心理・社会学 第6版』我部山キヨ子・菅原ますみ編 医学書院

	『助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ 第6版』堀内成子・片岡弥恵子編 医学書院 『助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ[妊娠期] 第6版』我部山キヨ子・武谷雄二編 医学書院 『助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ[分娩期・産褥期] 第6版』我部山キヨ子・藤井知行編 医学書院 『助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ[新生児・乳幼児期] 第6版』石井邦子・廣間武彦編 医学書院			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
【第6版】助産学講座 2 基礎助産学 2		医学書院	2021	9784260042048
基礎助産学[3] 母子の 健康科学 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260049917
基礎助産学[4] 母子の 心理・社会学 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260050036
【第6版】助産学講座 5 助産診断・技術学 1		医学書院	2021	9784260042260
【第6版】助産学講座 6 助産診断・技術学 2-1		医学書院	2021	9784260042086
参考図書	『行動科学 健康づくりのための理論と応用』畑栄一・土井由利子編 南山堂 『参加型マタニティクラス BOOK』戸田律子著 医学書院 『妊娠期別ガイド 妊婦健診と保健指導パワーアップガイド』松岡隆編 MCメディカ出版 『週数別 妊婦健診マニュアル 第2版』藤井知行編 医学書院 『新版お母さんがもっと元気になる乳児健診』水野克己著 メディカ出版 2021 『授乳・離乳の支援ガイド(2019年改訂版)実践の手引き』五十嵐隆監修 母子衛生研究会 2021			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・ 事後学修	この授業では事前学習 40 分程度、事後学修 40 分程度（1 コマ当たり）を行います。 ・個人で妊娠期、分娩期、産褥・新生児期・産後 4 か月までの経過と特徴をまとめ、グループワークで自分の意見を発表できるよう準備をしておきましょう。 ・各グループでそれぞれ企画書の共有をしながら、グループで保健指導用パンフレットを作成する準備をしておきましょう。 事後学修ではフィードバックをもとに企画書・パンフレットを修正しましょう。修正された企画書・パンフレットは、WebClass の e ポートフォリオ・コンテンツに保存し復習や実習中の保健指導に活用しましょう。			
オープンエ デュケーシ ョンの活用	聖隷浜松病院 HP 「妊娠・出産・育児」こんなときどうすればいいの？動画解説 <a href="https://www.seirei.or.jp/hamamatsu/childbearing/childbirth_education/movie/">https://www.seirei.or.jp/hamamatsu/childbearing/childbirth_education/movie/</a>			
オフィス アワー	鈴木恵：時間については初回授業時に提示します。			
実務経験に 関する記述	本科目は、「助産師」の実務経験を有し、臨床において個別・集団指導の実践や、地域活動においての実践経験を有する講師が、実務の観点を踏まえて教授する科目です。			
メディア 授業の実施 について	状況に応じて提示します。			

科目名	ウィメンズヘルス論			
科目責任者	三輪 与志子			
単位数他	1 単位 (15 時間) 必修 通年			
DP 番号と科目領域	DP4 助産実践			
科目の位置付	女性のライフサイクルにおける性と生殖に関する権利を尊重し、女性の主体性を尊重したケアの実践者である。			
科目概要	女性のライフサイクルには、次世代に健康をつなぐ機会がある。自分自身と次世代の健康を守るために、また、各ライフステージにおける心身の健康問題への支援のために必要な知識と技術を学修する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 女性の栄養や身体活動が、自分自身や将来の子どもたちに与える影響について説明できる。</li> <li>2. 社会の変化に応じた家族計画の動向や対象者の特性、これまでの避妊法の推移を踏まえ家族計画指導の意義を説明できる。</li> <li>3. 中高年女性に対する支援方法を説明できる。</li> <li>4. DV の現状と DV がもたらす健康被害を理解する。</li> <li>5. 各ライフステージにおける女性とパートナーに対する支援を説明できる。</li> <li>6. 様々な養育困難を抱える女性と子どもの現状と課題について理解する。</li> </ol>			
授業計画	<p>第1回：DOHaD、妊孕世代の健康、妊娠に向けた身体づくり 久保田 君枝 妊婦の栄養・運動と胎児の発育</p> <p>第2回：ライフプランを考慮した健康・家族計画の概念 三輪 与志子</p> <p>第3回：遺伝相談・当事者の立場から 大村 由実</p> <p>第4-5回：中高年に対する支援 永谷 実穂</p> <p>第6-7回：DV の概要と DV の加害者と被害者の実態と課題 幸崎 若菜</p> <p>第8回：様々なハンディを抱える子どもと女性の現状と課題 入江 礼奈</p>			
アクティブラーニング	本授業は、グループワーク、ディスカッションなどを取り入れて実施します。			
授業内のICT活用	授業ではPC・プロジェクターを使用します。			
評価方法	筆記試験 70%、レポート 30%			
課題に対するフィードバック	レポート、リアクションペーパーへのコメントでフィードバックします。			
指定図書	<p>『助産師基礎教育テキスト 2025 年版 第2巻 ウィメンズヘルスケア』吉沢豊子子編 日本看護協会出版会</p> <p>『助産師基礎教育テキスト 2025 年版 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア』小林康江編 日本看護協会出版会</p> <p>『助産学講座 2 基礎助産学[2]母子の基礎科学 第6版』我部山キヨ子・武谷雄二・藤井知行編 医学書院</p> <p>『助産学講座 3 基礎助産学[3]母子の健康科学 第6版』我部山キヨ子編 医学書院</p> <p>『助産学講座 4 基礎助産学[4]母子の心理・社会学 第6版』我部山キヨ子・菅原ますみ編 医学書院</p> <p>『助産学講座 5 助産診断・技術学 I 第6版』堀内成子・片岡弥恵子編 医学書院</p> <p>『助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健 第6版』我部山キヨ子編 医学書院</p>			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
【第6版】助産学講座 2 基礎助産学 2		医学書院	2021	9784260042048

基礎助産学[3] 母子の健康科学 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260049917
基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260050036
【第6版】助産学講座 5 助産診断・技術学 1		医学書院	2021	9784260042260
地域母子保健・国際母子保健 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260050043
参考図書	『妊娠を知られたくない女性たち』佐藤拓代・松岡典子・松尾みさき・赤尾さく美著 日本看護協会出版会			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・事後学修	この授業では、事前学修 40 分程度、事後学修 40 分程度の学修を行います。授業で使う資料は、授業時あるいは事前に提示します。事前・事後学修に活用してください。			
オープンエデュケーションの活用	「食事でこんなに変わる、脳の発達や病気」京都女子大学 辻 雅弘 先生 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=Bi2eR87NdAg">https://www.youtube.com/watch?v=Bi2eR87NdAg</a> 「更年期との付き合い方（更年期障害）」日本医師会オープンセミナー 女性の健康問題を考える 対馬ルリ子先生 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=ZMDpqtAx0SM">https://www.youtube.com/watch?v=ZMDpqtAx0SM</a>			
オフィスアワー	三輪 与志子：火曜日 15：00～18：30			
実務経験に関する記述	本科目は、地域の活動家として豊かな実践を有する講師やウィメンズヘルスを研究する教員が実務の観点を踏まえて教授する科目です。			
メディア授業の実施について	状況に応じて提示します。			

科目名	ハイリスクケア論
科目責任者	三輪 与志子
単位数他	1 単位 (30 時間) 必修 通年
DP 番号と科目領域	DP2・DP3 助産実践
科目の位置付	助産師として必要な、人間や環境への思いやりを大切にし、母子およびその家族を尊重し、助産師としての役割と責任を果たす能力を修得する。 医療保健福祉の進歩を敏感に捉え、対象を全人的に捉え、ニーズに応えるための高度な診断能力および科学的根拠に基づいた質の高い助産技術と実践力を身につけている。
科目概要	ハイリスク妊娠・分娩の増加に伴い、多種多様なニーズを持つ妊産褥婦に対応するため、妊娠・分娩・産褥期および胎児・新生児期の異常に関する知識や正常からの逸脱を判断し、異常を予測する臨床診断を学修する。また、緊急時や異常時に早期対応するために、事例を設定し演習を通して産科出血時の対応やハイリスク新生児のケアを学ぶ。
到達目標	1. 妊娠期、分娩期、産褥期および胎児・新生児期の正常経過からの逸脱を予測し、助産診断に基づく援助方法、助産技術を理解できる。 2. ハイリスク状態にある妊産褥婦や新生児への助産ケアの基本が理解できる。 3. ハイリスク新生児へのケアと親への支援が理解できる。 4. 心理社会的ハイリスク状態にある妊産褥婦とその家族への助産ケアを考えることができる。
授業計画	第 1- 4 回 : 合併症を持つ妊産褥婦への助産ケア 鈴木 静恵 第 5- 7 回 : ハイリスク新生児へのケア・演習 寺部 宏美 室加 千佳 久保田君枝、三輪与志子、鈴木恵 第 8- 9 回 : 生殖のメカニズム、生殖補助医療の実際 望月 修 第 10 回 : 男性不妊 今井 伸 第 11-12 回 : 不妊看護 爪田 久美子 第 13-15 回 : 分娩時異常出血の診断と対処・演習 島津 泉 久保田君枝、三輪与志子、鈴木恵
アクティブラーニング	シミュレーショントレーニング (異常出血時の対処、ハイリスク新生児へのケア)、グループワークを取り入れています。
授業内の ICT 活用	演習で実施している助産ケアをビデオ撮影し、振り返りに活かします。
評価方法	筆記試験 80% リアクションペーパー 20%
課題に対するフィードバック	演習時に適宜コメントします。またリアクションペーパーへのコメント等でフィードバックします。
指定図書	『助産師基礎教育テキスト 2025 年版 第 2 巻 ウィメンズヘルスケア』吉沢豊予子編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025 年版 第 4 巻 妊娠期の診断とケア』森恵美編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025 年版 第 5 巻 分娩期の診断とケア』佐々木くみ子編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025 年版 第 6 巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア』江藤宏美編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025 年版 第 7 巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア』小林康江編 日本看護協会出版会 『新生児学入門』第 6 版 仁志田博司編 医学書院 2024 『母乳育児支援スタンダード 第 3 版』NPO 法人日本ラクテーションコンサルタント協会 医学書院 2025

	『助産学講座2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 第6版』我部山キヨ子・武谷雄二・藤井知行編 医学書院 『助産学講座3 基礎助産学[3] 母子の健康科学 第6版』我部山キヨ子編 医学書院 『助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[妊娠期] 第6版』我部山キヨ子・武谷雄二編 医学書院 『助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[分娩期・産褥期] 第6版』我部山キヨ子・藤井知行編 医学書院 『助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[新生児・乳幼児期] 第6版』石井邦子・廣 『産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023』日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会 『プリンシプル産婦人科学2 産科編 第3版』武谷雄二他監修 メヂカルビュー社				
	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
	【第6版】助産学講座 2 基礎助産学 2		医学書院	2021	9784260042048
	基礎助産学[3] 母子の 健康科学 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260049917
	【第6版】助産学講座 6 助産診断・技術学 2-1		医学書院	2021	9784260042086
	【第6版】助産学講座 7 助産診断・技術学 2-2		医学書院	2021	9784260042109
	【第6版】助産学講座 8 助産診断・技術学 2-3		医学書院	2021	9784260042192
参考図書	『母体急変時の初期対応 第3版』日本母体究明システム普及協議会/京都産婦人科救急診療研究会編著 MC メディカ出版 『参加エマージェンシー臨床推論』望月玲子著 メディカ出版 『射精道』今井伸著 光文社新書 2024 『不妊に悩む女性への看護』佐藤孝道著 メディカ出版 2010 『赤ちゃんの死へのまなざし』竹内正人著 中央法規出版 2010				
	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・事後学修	事前課題は1コマあたり40分程度行い、該当する授業時に持参しましょう。 基本的な分娩介助技術や内診技術、新生児の診察および身体計測の自己学修などは、自主的に実習室で反復練習をしておきましょう。 一次救命処置の復習、ABCの評価を復習しておきましょう。				
オープンエデュケーションの活用	なし				
オフィスアワー	三輪 与志子：1707 研究室 火曜日：12：30～18：30 E-mail：yoshiko-m@seirei.ac.jp				
実務経験に関する記述	本科目は、臨床の助産師・医師を講師として迎えており、実務の観点を踏まえて教授する科目です。				
メディア授業の実施について	状況に応じて提示します。				

科目名	助産管理論	
科目責任者	久保田 君枝	
単位数他	2 単位 (30 時間) 必修 通年	
DP 番号と科目領域	DP5 助産実践	
科目の位置付	保健医療福祉領域において助産師としての専門性を自覚し、多職種と連携、協働して、その責務を果たすことができる。	
科目概要	<p>各施設の運営・管理の基本、周産期医療システム、関係法規・政策を学び、助産業務とマネジメントの基本について理解する。周産期における医療安全の確保と医療事故および災害時の対応について学び、助産師の専門性を発揮して母子や家族の健康を高めるためのマネジメントの在り方、助産師の業務上の義務と責任および助産業務管理について考察する。</p> <p>自立した助産業務確立への理解を深めるために、1) 助産業務に関する法的責任と義務、2) 助産施設の管理者としての助産業務管理および運営等について学ぶ。さらに、医療機関および助産所での実習を体験した後、妊産褥婦および家族中心の助産管理、災害や医療事故を回避する助産管理等について学ぶ。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助産業務に関する法的義務や責任について説明できる。</li> <li>2. 病産院・助産所・診療所における助産業務管理の要点を説明できる。</li> <li>3. 院内助産所における助産業務について説明できる。</li> <li>4. 討論を通して患者中心の助産管理について自分の意見を述べるができる。</li> <li>5. 助産領域における医療事故の現状と予防と対応について説明できる。</li> <li>6. 災害時に備えた助産管理について自分の意見を述べるができる。</li> </ol>	
授業計画	<p>第1回：助産管理の理論と管理のプロセス</p> <p>第2-3回：助産師の法的責任と義務</p> <p>第4回：周産期管理システム</p> <p>第5回：助産サービスと医療経済</p> <p>第6-7回：医療機関における助産業務管理の実際</p> <p>第8-9回：助産所における助産業務管理の実際</p> <p>第10回：院内助産所における助産業務管理の実際</p> <p>第11回：診療所における助産業務管理の実際</p> <p>第12-13回：医療事故とリスクマネジメント</p> <p>第14-15回：災害時に備えた助産管理</p>	<p>久保田君枝</p> <p>稲垣 恵子</p> <p>久保田君枝</p> <p>久保田君枝</p> <p>斉藤 貴子</p> <p>伊藤 和代</p> <p>秋葉 志保</p> <p>池平 香奈</p> <p>斉藤 貴子</p> <p>(浜松市健康医療課)</p>
アクティブラーニング	グループワーク、課題のプレゼンテーション	
授業内のICT活用	インターネットから文献検索や情報を検索して、助産管理について学修する。	
評価方法	筆記試験 80%、各グループのまとめレポート 20%	
課題に対するフィードバック	リアクションペーパー、レポートへのコメント	
指定図書	<p>『助産師基礎教育テキスト第3巻 助産サービス管理』成田伸編、日本看護協会出版会 2025</p> <p>『助産学講座1 基礎助産学 [1] 助産学概論 第6版』我部山キヨ子・安達久美子編、医学書院 2025</p> <p>『助産学講座2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 第6版』我部山キヨ子・武谷雄二・藤井知行編、医学書院 2025</p> <p>『助産学講座3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 第6版』我部山キヨ子他編、医学書院 2025</p> <p>『助産学講座4 基礎助産学 [4] 母子の心理・社会学 第6版』我部山キヨ子・菅原ますみ編、医学書院 2025</p> <p>『助産学講座5 助産診断・技術学 I 第6版』我部山キヨ子・片岡弥恵子編、医学書院 2025</p>	

	『助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第6版』我部山キヨ子・武谷雄二編、医学書院 2025 『助産学講座10 助産管理 第6版』我部山キヨ子・藤井知行編、医学書院 2025 『助産業務ガイドライン2024』日本助産師会 2024 『新版助産師業務要覧第4版 I 基礎編』福井トシ子編 日本看護協会出版会 2025 『新版助産師業務要覧第4版 II 実践編』福井トシ子編 日本看護協会出版会 2025 『新版助産師業務要覧第4版 III アドバンス編』福井トシ子編 日本看護協会出版会 2025				
	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
参考図書	「助産師の声明・綱領」日本助産師会 <a href="https://www.midwife.or.jp/midwife/statement.html">https://www.midwife.or.jp/midwife/statement.html</a> 『助産所開業マニュアル』—開設・管理・運営—、日本助産師会 2021 『今こそ知りたい助産師のための産後ケアガイド』日本助産師会 2023 『妊娠出産される女性とご家族のための助産ガイドライン』日本助産学会編 2021 『エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期・産褥期』日本助産学会 2025 『看護管理の道しるべ』野中廣著 照林社 2013				
	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・事後学修	授業で使う資料は授業時あるいは事前に配布します。事前・事後学修に活用してください。 到達目標の内容について、事前学修を行い、理解できない点を発言して理解を深め、事後学修で思考の整理をしてください。 災害時における助産管理について、過去の災害からの学びを事前学修しておいてください。 この授業では、事前学修40分程度、事後学修40分程度の学修を行ってください。				
オープンエデュケーションの活用	東日本大震災の支援体験 2011 <a href="https://jalc-net.jp/?hisai?hisai_keiken2011">https://jalc-net.jp/?hisai?hisai_keiken2011</a> 厚生労働省：災害時の母子保健対策に関するマニュアル等について ○災害時妊産婦情報共有マニュアル（保健・医療関係者向け） <a href="http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000121617.pdf">http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000121617.pdf</a> ○妊産婦を守る情報共有マニュアル（一般・避難所運営者向け） <a href="http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000121619.pdf">http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000121619.pdf</a>				
オフィスアワー	金曜日の午後 研究室 1715 久保田君枝 ; kimie-k@seirei.ac.jp				
実務経験に関する記述	状況に応じて提示します				
メディア授業の実施について	グループワーク、課題のプレゼンテーション				

科目名	助産診断学
科目責任者	三輪 与志子
単位数他	2単位 (30時間) 必修 春semester
DP番号と科目領域	DP3 助産実践
科目の位置付	医療保健福祉の進歩を敏感に捉え、対象を全人的に捉え、ニーズに応えるための高度な診断能力および科学的根拠に基づいた質の高い助産技術と実践力を身につけている。
科目概要	正常な妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象およびその家族のQOLを高めるために、各期における経過の診断を学修する。そのために、助産診断の概念や考え方の理解を深め、対象者の各時期の経過・健康生活を科学的根拠に基づいてアセスメントをするために必要な基本的知識ならびに助産診断と助産計画立案の方法を学ぶ。さらに各時期の経過・健康生活を継続して理解するために妊娠・分娩・産褥期を通して事例検討を行う。
到達目標	1. 正常な妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象およびその家族の把握に必要な基礎的知識を習得できる。 2. 各時期の経過を診断することができる。 3. 各時期の経過に応じた助産計画を立案することができる。 4. 妊娠・分娩・産褥・新生児期を通して事例検討することができる。
授業計画	第1-4回 : 妊娠期 (母体・胎児) の助産診断 鈴木恵 妊娠期のフィジカルアセスメント 妊娠週数に応じた身体・心理社会的側面からの診断 ハイリスク因子の診断 第5回 : 妊娠期の事例展開 鈴木恵、久保田君枝、三輪与志子 第6-9回 : 分娩期の助産診断 久保田君枝 分娩期のフィジカルアセスメント、分娩が母児に与える影響 分娩開始の診断と進行診断、母児の適応診断、心理社会的側面からの診断 ハイリスク因子の診断 第10回 : 分娩期の事例展開 久保田君枝、三輪与志子、鈴木恵 第11-14回 : 産褥期・新生児期の助産診断 三輪与志子 産褥期のフィジカルアセスメント、褥婦の心理社会的側面の診断 母乳育児に関する診断、育児能力 (ディペンデントケア能力) の診断 出生直後の新生児の診断、正常経過にある新生児のフィジカルアセスメント、ハイリスク因子の診断 第15回 : 産褥期および新生児期の事例展開 三輪与志子、久保田君枝、鈴木恵
アクティブラーニング	本授業は、紙上事例を用いてグループワーク、ディスカッションを中心に進めます。 妊娠・分娩・産褥各期の終わりに、グループでまとめた助産診断をプレゼンテーションします。
授業内のICT活用	紙上事例の展開でMedi-Eyeを活用します。 グループ発表のプレゼンテーションをプロジェクターを利用して行います。
評価方法	筆記試験 60%、グループワークの発表 (内容・プレゼンテーション) 40%
課題に対するフィードバック	グループワーク時のアドバイス、発表時のコメント、リアクションペーパーへのコメントによりフィードバックします。
指定図書	『助産師基礎教育テキスト 2025年版 第2巻 ウィメンズヘルスケア』吉沢豊子子編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025年版 第4巻 妊娠期の診断とケア』森恵美編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025年版 第5巻 分娩期の診断とケア』佐々木くみ子編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025年版 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア』江藤宏美編 日本看護協会出版会

<p>『実践マタニティ診断 第5版』日本助産診断実践学会編 医学書院 2021  『胎児心拍数モニタリング講座 改訂4版』藤森敬也著 MC メディカ出版  『新生児学入門』第6版 仁志田博司編 医学書院 2024  『母乳育児支援スタンダード 第3版』NPO 法人日本ラクテーションコンサルタント協会 医学書院 2025  『プリンシプル産科婦人科学2産科編 第3版』武谷雄二監修 メジカルビュー社  『助産学講座3 基礎助産学[3]母子の健康科学 第6版』我部山キヨ子編 医学書院  『助産学講座4 基礎助産学[4]母子の心理・社会学 第6版』我部山キヨ子・菅原ますみ編 医学書院  『助産学講座5 助産診断・技術学I 第6版』我部山キヨ子・武谷雄二編 医学書院  『助産学講座6 助産診断・技術学II[妊娠期] 第6版』我部山キヨ子・藤井知行編著 医学書院  『助産学講座8 助産診断・技術学II[新生児・乳幼児期] 第6版』石井邦子・廣間武彦編著 医学書院  『産婦人科診療ガイドライン 産科編2023』日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会  『助産業務ガイドライン2023』日本助産師会編 日本助産師会出版</p>				
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
基礎助産学[3] 母子の健康科学 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260049917
基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260050036
【第6版】助産学講座5 助産診断・技術学1		医学書院	2021	9784260042260
【第6版】助産学講座6 助産診断・技術学2-1		医学書院	2021	9784260042086
【第6版】助産学講座8 助産診断・技術学2-3		医学書院	2021	9784260042192
改訂4版 胎児心拍数モニタリング講座	藤森 敬也	メディカ出版	2021	9784840478229
【第5版】実践マタニティ診断	【第5版】実践マタニティ診断	医学書院	2021	9784260045834
参考図書	<p>『正常分娩の助産術 トラブルへの対応と会陰裂傷縫合』進純郎・堀内成子著 医学書院  『助産師のためのフィジカルイグザミネーション』第2版 我部山キヨ子・大石時子編 医学書院 2021  『今日の助産 改訂第4版』北川真理子・内山和美編、南江堂  『乳房ケア・母乳育児のすべて』ペリネイタルケア2017年夏季増刊号 ペリネイタルケア編集委員会編著 MC メディカ出版  『THE 分娩 ビジュアルで学ぶ生理学・助産診断・分娩介助のすべて』石川紀子・中川有加編 医学書院  『週数別 妊婦健診マニュアル 第2版』藤井知行著 医学書院</p>			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程 改訂第4版	北川 真理子 編集	南江堂	2019	9784524246250
事前・事後学修	<p>事前学修としてWeb せいれいタウンの事例を確認しましょう。  アセスメントに必要な形態機能学の基礎知識、妊娠・分娩・産褥・新生児期の経過と診断基準の事前・事後学修を1コマあたり40分を目安に行いましょう。</p>			

	紙上事例の展開では、事前学修として①グループワーク前の個人ワーク、②グループ発表の準備を行きましょう。 事後学修ではフィードバックをもとに助産診断・助産計画を修正しましょう。修正された助産診断・助産計画は、WebClass の e ポートフォリオ・コンテンツに保存し復習に活用しましょう。
オープンエデュケーションの活用	なし
オフィスアワー	三輪与志子：火曜日 12：30～18：30
実務経験に関する記述	本科目は、「助産師」の実務経験を有する講師が実務の観点を踏まえて教授する科目です。
メディア授業の実施について	状況に応じて提示します。

科目名	助産技術学 I
科目責任者	三輪 与志子
単位数他	3 単位 (90 時間) 必修 通年
DP 番号と科目領域	DP3 助産実践
科目の位置付	医療保健福祉の進歩を敏感に捉え、対象を全人的に捉え、ニーズに応えるための高度な診断能力および科学的根拠に基づいた質の高い助産技術と実践力を身につけている。
科目概要	妊産婦の主体性と個々の持ち合わせている強みを尊重しながら、妊娠・分娩・産褥期および新生児期を正常な経過に導くために、成長過程や生理的变化を観察する眼を養い、科学的な助産診断に基づいた援助技術および助産技法を学修する。また実践力を高めるために、シミュレーション演習を通して学生が自ら気づき、学生が互いに知識・技術・態度を学び合う。
到達目標	1. 妊娠・分娩・産褥期および胎児・新生児期の助産診断に基づく援助方法、援助技術を修得できる。 2. 正常経過における分娩介助技術を修得できる。
授業計画	<p>第1-2回：助産援助技術とは 妊娠期のケア 鈴木恵  正常経過にある妊婦の日常生活への援助、家族への援助  妊婦の身体的・心理・社会的変化に対する援助  バースプランとバースレビュー</p> <p>第3-4回：妊娠期のフィジカルイグザミネーション(演習) 梅田奈智加、鈴木恵、久保田君枝、三輪与志子</p> <p>第5-6回：妊婦健康診査(シミュレーション演習) 鈴木恵、久保田君枝、三輪与志子</p> <p>第7-8回：マタニティヨーガ 小森やえ子</p> <p>第9-12回：分娩期のフィジカルイグザミネーション 奥山佳奈恵  正常な分娩経過に沿った観察と診断技術</p> <p>第13回：分娩機転、胎児の下降と内診所見のアセスメント 久保田君枝</p> <p>第14回：助産師が活用できるアロマセラピーとツボ療法 小森やえ子</p> <p>第15-16回：分娩期のケア(演習) 松本明美、久保田君枝、三輪与志子、鈴木恵  産婦および家族への援助 分娩準備教育：産痛緩和・呼吸法・補助動作</p> <p>第17-20回：分娩介助技術(演習) 奥山佳奈恵、久保田君枝、三輪与志子、鈴木恵  正常分娩の娩出機転、分娩介助技術、内診技術、間接介助の役割  分娩進行に応じた基本技術(内診、人工破膜)、出生直後の新生児ケア</p> <p>第21-24回：分娩介助技術演習 三輪与志子、久保田君枝、鈴木恵</p> <p>第25-30回：分娩介助技術確認 三輪与志子、久保田君枝、鈴木恵  分娩介助技術評価、評価後の技術確認</p> <p>第31-32回：出生直後の新生児の観察とケア(演習) 三輪与志子、久保田君枝、鈴木恵</p> <p>第33-34回：産褥期のフィジカルイグザミネーション 三輪与志子  正常経過にある褥婦の観察とケア</p> <p>第35-36回：産後の日常生活への指導・家族計画 三輪与志子  新生児・乳児の観察とケア</p> <p>第37-38回：乳房ケア 母乳育児促進への援助 新田京子</p> <p>第39-40回：妊娠期から産褥期の骨盤ケア 堀田久美</p> <p>第41-42回：新生児の沐浴指導技術(演習) 木恵、久保田君枝、三輪与志子</p> <p>第43回：母子の家庭訪問技術 齋藤由美</p> <p>第44-45回：フリースタイル出産の分娩介助技術(演習) 中津川光佐子</p>
アクティブラーニング	シミュレーショントレーニング(模擬妊婦への健康診査技術演習、分娩介助演習、内診・人工破膜演習)、ロールプレイ、グループワークを取り入れています。

授業内のICT活用	演習で実施している助産ケアをビデオ撮影し、振り返りに活かします。			
評価方法	筆記試験 70% 分娩介助技術チェック 30%			
課題に対するフィードバック	分娩介助技術確認後に担当教員が個別でコメントし、必要時個別で技術の再確認を行います。技術演習後の振り返りでのコメントやアクションペーパーへのコメント等でフィードバックします。			
指定図書	『助産師基礎教育テキスト 2025年版 第2巻 ウィメンズヘルスケア』吉沢豊予子編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025年版 第4巻 妊娠期の診断とケア』森恵美編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025年版 第5巻 分娩期の診断とケア』佐々木くみ子編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025年版 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア』江藤宏美編 日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025年版 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア』小林康江編 日本看護協会出版会 『胎児心拍数モニタリング講座 改訂4版』藤森敬也著 MC メディカ出版 『新生児学入門』第6版 仁志田博司編 医学書院 2024 『母乳育児支援スタンダード 第3版』NPO 法人日本ラクテーションコンサルタント協会 医学書院 2025 『助産学講座2 基礎助産学[2]母子の基礎科学』我部山キヨ子・武谷雄二・藤井知行編 医学書院 『助産学講座3 基礎助産学[3]母子の健康科学 第6版』我部山キヨ子編 医学書院 『助産学講座4 基礎助産学[4]母子の心理・社会学』我部山キヨ子・菅原ますみ編 医学書院 『助産学講座6 助産診断・技術学II[妊娠期] 第6版』我部山キヨ子・武谷雄二編 医学書院 『助産学講座7 助産診断・技術学II[分娩期・産褥期] 第6版』我部山キヨ子・藤井知行編著 医学書院 『助産学講座8 助産診断・技術学II[新生児・乳幼児期] 第6版』石井邦子・廣間武彦編著 医学書院 『実践マタニティ診断』第5版日本助産診断・実践研究会編 医学書院 2021 『産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023』日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会 『助産業務ガイドライン 2024』日本助産師会			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
【第6版】助産学講座2 基礎助産学 2		医学書院	2021	9784260042048
基礎助産学[3] 母子の健康科学 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260049917
基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260050036
【第6版】助産学講座6 助産診断・技術学2-1		医学書院	2021	9784260042086
【第6版】助産学講座7 助産診断・技術学2-2		医学書院	2021	9784260042109
【第6版】助産学講座8 助産診断・技術学2-3		医学書院	2021	9784260042192
改訂4版 胎児心拍数モニタリング講座	改訂4版 胎児心拍数モニタリング講座	メディカ出版	2021	9784840478229

参考図書	<p>『正常分娩の助産術 トラブルへの対応と会陰裂傷縫合』進純郎・堀内成子著 医学書院</p> <p>『助産師のためのフィジカルイグザミネーション』第2版 我部山キヨ子・大石時子編 医学書院 2021</p> <p>『今日の助産 改訂第4版』北川真理子・内山和美編、南江堂</p> <p>『乳房ケア・母乳育児のすべて』ペリネイタルケア 2017年夏季増刊号 ペリネイタルケア編集委員会編著 MC メディカ出版</p> <p>『THE 分娩 ビジュアルで学ぶ生理学・助産診断・分娩介助のすべて』石川紀子・中川有加編 メディカ出版</p> <p>『女性と助産師のパートナーシップ 実践のためのモデル』カレン・ギリランド&amp;サリー・ペアマン著 ドーリング恵子訳 日本助産師会出版</p> <p>『お母さんと赤ちゃんの生理とフィジカルアセスメント』中田雅彦編著、PERINATAL CARE 2024年冬季増刊 MC メディカ出版 2024</p> <p>『助産師のための産後ケアガイド2023』日本助産師会編 日本助産師会出版 2023</p>				
	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「妊婦健康診査」「産痛緩和」「新生児の援助」については事前課題を提示します。</li> <li>・母乳の歴史、乳房の解剖・乳汁分泌の生理、母乳の利点についてまとめておきましょう。</li> </ul> <p>事前課題は1コマあたり40分程度行い、該当する授業時に持参するようにしましょう。</p> <p>基本的な分娩介助技術や内診技術、新生児の診察および身体計測、新生児の沐浴などの助産技術は、自主的に実習室で反復練習をして資料なしでも実施できるようにしておきましょう。</p>				
オープンエデュケーションの活用	ナースィングスキルやビジュランクラウドの活用ができます。				
オフィスアワー	三輪 与志子：1707 研究室 火曜日：12：30～18：30 E-mail：yoshiko-m@seirei.ac.jp				
実務経験に関する記述	本科目は、臨床の助産師を講師として迎えており、実務の観点を踏まえて教授する科目です。妊婦健康診査の演習では、実際の妊婦さんにご協力いただき演習をします。				
メディア授業の実施について	状況に応じて提示します。				

科目名	助産技術学Ⅱ	
科目責任者	三輪 与志子	
単位数他	1 単位 (30 時間) 必修 通年	
DP 番号と科目領域	DP3 助産実践	
科目の位置付	医療保健福祉の進歩を敏感に捉え、対象を全人的に捉え、ニーズに応えるための高度な診断能力および科学的根拠に基づいた質の高い助産技術と実践力を身につけている。	
科目概要	現代の助産領域に必要な、1) 胎児心拍数モニタリングや超音波検査からのデータの判読、2) 新生児蘇生法や会陰縫合術の実際、3) ウィメンズヘルスケアの視点で子宮頸がん検査の実際、4) 産痛緩和法の一つとしての麻酔分娩について学修する。医療の高度化に伴い助産診断・技術に対する社会的要請は高いため、専門性の高い技術はシミュレーション演習を通して学修する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊婦健診時における超音波検査からのデータ判読のポイントを理解できる。</li> <li>2. 胎児心拍モニタリングの判読ができる。</li> <li>3. 新生児蘇生法の技術（Aコース）を修得できる。</li> <li>4. 分娩に伴う軟産道、会陰部の損傷に対する知識・縫合術の基本を理解できる。</li> <li>5. 麻酔分娩（無痛分娩）のメリット・デメリット、分娩管理に必要な観察ポイントを理解できる。</li> <li>6. 子宮頸がん検査における細胞採取技術の修得、子宮腔部の病変の観察技術を修得できる。</li> </ol>	
授業計画	第1-2回：胎児監視モニターの波形を判読、胎児診断の方法 第3-4回：超音波検査の画像を判読、胎児診断の方法 第5-6回：新生児仮死の診断 第7-9回：新生児蘇生法(Aコース) 第10-11回：会陰部縫合に必要な解剖・生理、縫合演習 第12-13回：麻酔分娩（無痛分娩） 第14-15回 (1) 子宮頸がんの予防（一次予防、二次予防）に対する世界の動向 (2) 子宮頸がんワクチンの現状（日本と諸外国） (3) 子宮頸がんの発生機序と検査方法（診断と治療） (4) 子宮頸がん検査の細胞採取の演習	稲岡 直子 金子 洋子 杉浦 弘 杉浦 弘 清水 陽彦 伊賀 健太郎 入駒 麻希
アクティブラーニング	シミュレーショントレーニング（超音波診断、新生児蘇生法、会陰縫合、子宮頸がん検査）、グループワークを取り入れています。	
授業内のICT活用	会陰部縫合術の演習は、ハンディカメラと大型ディスプレイを利用して行います。超音波検査の画像判読は、胎児超音波診断ファントム・教育用小型エコーを使用し、実習室で演習します。	
評価方法	筆記試験 80%、小テスト 10%、リアクションペーパー 10%	
課題に対するフィードバック	授業時間内もしくは、リアクションペーパーへのコメントでフィードバックします。	
指定図書	『助産師基礎教育テキスト 2025年版 第2巻 ウィメンズヘルスケア』吉沢豊予子他編、日本看護協会出版会 『助産師基礎教育テキスト 2025年版 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア』小林康江他編、日本看護協会出版会 『助産学講座2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 第6版』我部山キヨ子、武谷雄二、藤井知行他編著、医学書院 『助産学講座3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 第6版』我部山キヨ子編、医学書院 『助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ (2) 分娩期・産褥期 第6版』我部山キヨ子、藤井知行他編	

	著、医学書院 『正常分娩の助産術 トラブルへの対応と会陰裂傷縫合』新純郎、堀内成子著 医学書院 2021 『プリンシプル産科婦人科学2 第3版』武谷雄二監修、メジカルビュー社 2023 『胎児心拍数モニタリング講座』藤森敬也著 MC メディカ社 2021 『日本版救急蘇生ガイドライン 2020 に基づく新生児蘇生法テキスト』田村正徳監修、メジカルビュー社				
	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
	【第6版】助産学講座 2 基礎助産学 2		医学書院	2021	9784260042048
	基礎助産学[3] 母子の 健康科学 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260049917
	【第6版】助産学講座 7 助産診断・技術学 2-2		医学書院	2021	9784260042109
	正常分娩の助産術 ト ラブルへの対応と会陰 裂傷縫合	進純郎／著 堀内成子 ／著	医学書院	2010	9784260010825
	改訂4版 胎児心拍数 モニタリング講座	藤森 敬也	メディカ出版	2021	9784840478229
参考図書	『動画で学べる産科超音波 I 妊婦健診編』増崎英明著、メディカ出版 『手技や判読のコツが動画で確認できる産科超音波検査ポケットブック』正岡 博、日総研 『無痛分娩パーフェクトガイド』田辺けい子・野口翔平編著、医学書院 『ペリネイタルケア 特集「無痛分娩を含めた産痛緩和ケア」』Vol. 35、No. 2、2016、メディカ出版				
	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・ 事後学修	《新生児蘇生法》「新生児蘇生法テキスト」に沿って1コマあたり40分(=1回分)を目安に自己学習、自主的に実習室で自己練習を行ってください。 《超音波診断》授業後にWebClass内の小テストに回答してください。(30分) 《胎児監視モニターの波形判読》専攻科教室のデスクトップパソコンにインストールした既存のeラーニング教材で波形の判読ポイントを学修しましょう。				
オープンエ デュケーシ ョンの活用	・自主学習として日本産科婦人科学会が開設するホームページを紹介します。 <a href="https://www.jsog.or.jp">https://www.jsog.or.jp</a> 日本産科婦人科学会→「一般の皆様へ」→「公開情報」→「子宮頸がんワクチン」				
オフィス アワー	三輪与志子：火曜日 12：30～18：30				
実務経験に 関する記述	本科目は、「医師」または「臨床検査技師」の実務経験を有する講師が実務の観点を踏まえて教授する科目です。				
メディア 授業の実施 について	状況に応じて提示します。				

科目名	助産診断・技術学実習			
科目責任者	三輪 与志子			
単位数他	8 単位 (360 時間) 必修 通年			
DP 番号と科目領域	DP3 助産実践			
科目の位置付	医療保健福祉の進歩を敏感に捉え、対象を全人的に捉え、ニーズに応えるための高度な診断能力および科学的根拠に基づいた質の高い助産技術と実践力を身につけている。			
科目概要	対象者を総合的に理解し、妊娠・分娩・産褥期および新生児期の助産過程を継続的に展開し、正常分娩を中心とした助産を安全性と快適性に配慮しながら実践するために必要な基本的知識・技術を習得する。また、対象者の主体性や人格を尊重する姿勢と対象者の権利を擁護する助産師としての倫理観を養い、他専門職種との連携・協働の重要性の理解を深める。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 分娩期における助産診断を行い、ケア計画を立案し助産ができる。</li> <li>2. 母子および家族の健康生活に必要な援助ができる。</li> <li>3. 新生児の健康診査に基づき、胎外生活への順調な適応のための援助ができる。</li> <li>4. 母子・父子・家族関係の円滑な形成・維持のための援助を体験できる。</li> <li>5. 妊娠期、分娩期、産褥・新生児期、産後期の連続的な助産過程の展開を行い援助ができる。</li> <li>6. ハイリスク妊産褥婦および新生児とその家族への支援について理解を深めることができる。</li> <li>7. 助産師の専門性について理解を深めることができる。</li> <li>8. 助産師としての基本的態度を身につけることができる。</li> </ol>			
授業計画	<p>&lt;担当教員名&gt; 三輪与志子、久保田君枝、鈴木恵</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病院・診療所における妊婦・産婦・褥婦・新生児への助産ケアの実施</li> <li>2. 分娩介助の実施</li> <li>3. NICU・GCUにおけるハイリスク新生児およびその家族の援助の実施</li> <li>4. MFICUにおけるハイリスク妊婦・産婦・褥婦への助産ケアの実施</li> </ol> <p>詳細に関しては実習オリエンテーションで説明します。 「助産学専攻科実習てびき」に基づいて実習します。</p> <p>※第Ⅱ期実習前に「客観的臨床能力試験（助産師 OSCE）」を実施します。</p>			
アクティブラーニング	<p>「実習科目です。」</p> <p>「実習まとめ」発表会は学生主体で運営、進行します。</p>			
授業内のICT活用	プロジェクターを利用して「実習まとめ」発表会のプレゼンテーションを行います。			
評価方法	「助産学専攻科実習てびき」を参照してください。			
課題に対するフィードバック	<p>妊婦・産婦・褥婦・新生児への助産ケアの実践を通して、その都度フィードバックしていきます。</p> <p>「分娩介助技術（直接介助・間接介助）」形成評価、実習記録返却時のコメントでフィードバックします。</p>			
指定図書	すべての指定図書を参考にしてください。			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
参考図書	『助産学実習プレブック 第2版』町浦美智子、山田加奈子編著 医歯薬出版株式会社 2024			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN

事前・事後学修	<p>実習前に妊娠期、分娩期、産褥・新生児期、産後期の生理的な経過および各期に必要な保健指導の内容を自己学習してください。</p> <p>実習中は日々の事前学修 40 分 (=1 回分)、事後学修 (実習の振り返り、助産過程の展開) は 80 ~120 分 (=2~3 回分) を目安に行ってください。</p>
オープンエデュケーションの活用	なし
オフィスアワー	三輪与志子 : 1707 研究室 火曜日 12 : 30~18 : 30 E-mail : yoshiko-m@seirei.ac.jp
実務経験に関する記述	本科目は、臨地において実務経験を有する医師、助産師、その他の医療専門職種の方々と共に妊産褥婦・新生児へのケアを通して学修する科目です。
メディア授業の実施について	状況に応じて提示します。

科目名	助産業務管理実習				
科目責任者	久保田 君枝				
単位数他	1 単位 (45 時間) 必修 秋セメスター				
DP 番号と科目領域	DP5 助産実践				
科目の位置付	保健医療福祉領域において助産師としての専門性を自覚し、多職種と連携、協働して、その責務を果たすことができる。				
科目概要	助産診断・技術学実習」を通して、助産施設の管理者としての助産業務管理および運営、医療機関および助産所、多様な場とライフステージに応じた助産管理について学ぶ、方法として、業務管理責任者およびチームリーダーと共に行動し、母子保健チームにおける助産師の役割やリーダーシップの理解、助産業務管理を学修する。また、施設内における他専門職種との連携・協働を通して、助産業務管理をマネジメントする基礎的能力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 産科病棟における助産業務内容を説明できる。</li> <li>2. 中間管理者のシャドーイングを通して、産科病棟における助産業務管理の役割を理解する。</li> <li>3. 産科病棟・産婦人科外来における助産業務管理を管理者およびリーダー、メンバーの助産師のシャドーイングを通して助産管理を理解することができる。</li> <li>4. 院内助産所における助産業務管理について学びを報告することができる。</li> <li>5. 実習で学んだ内容をレポートにまとめることができる。</li> </ol>				
授業計画	<担当教員名> 久保田君枝、三輪与志子、鈴木 恵 詳細に関しては、実習オリエンテーションで説明します。 「助産学専攻科実習てびき」に基づいて実習します				
アクティブラーニング	実習科目です				
授業内のICT活用	なし				
評価方法	実習への参加態度 20%、実習記録 30%、レポート 50%				
課題に対するフィードバック	実習記録、レポートへのコメント				
指定図書	すべての指定図書を活用してください				
	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
参考図書	すべての指定図書を活用してください				
	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・事後学修	産科病棟・院内助産・助産(師)外来における助産業務管理について、事前学修、事後学修を行ってください。				
オープンエデュケーションの活用	なし				
オフィスアワー	金曜日の午後 研究室 1715 久保田君枝 ; kimie-k@seirei.ac.jp				
実務経験に関する記述	状況に応じて提示します				
メディア授業の実施について					

科目名	地域助産学実習			
科目責任者	鈴木 恵			
単位数他	2単位 (90時間) 必修 通年			
DP番号と科目領域	DP5 助産実践			
科目の位置付	保健医療福祉領域において助産師としての専門性を自覚し、多職種と連携、協働して、その責務を果たすことができる。			
科目概要	地域における子育て支援活動（子育て支援ひろばでの育児相談、新生児訪問など）、思春期相談、妊娠SOSを通して、対象が主体的に取り組むことができる支援方法を学修する。また、乳幼児の健康診査・予防接種の実際を通して地域における多職種連携・協働の重要性や助産師の役割について理解を深める。さらには、助産所において妊娠期から育児期まで継続して受持つことで実践力の向上をめざす。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域における母子および家族の問題を説明できる。</li> <li>2. 問題解決のための支援を指導者と共に実施できる。</li> <li>3. 地域における子育て支援について説明できる。</li> <li>4. 助産所分娩者の妊娠・分娩・産褥・新生児（分娩前は胎児）期・育児期の継続的な助産過程を展開し援助ができる。</li> <li>5. 妊婦やその家族がもつセルフケア機能や能力を引き出せるような援助の実際を体験できる。</li> <li>6. 地域における多職種との連携・協働の実際を体験する。</li> <li>7. 実習で学んだ内容をレポートとしてまとめることができる。</li> </ol>			
授業計画	<p>&lt;担当教員名&gt; 久保田君枝、三輪与志子、鈴木 恵</p> <p>詳細に関しては実習オリエンテーションで説明します。 「助産学専攻科実習のてびき」に基づいて実習します。 ※事前に浜松市の母子保健活動の説明を受けます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助産所における妊婦・産婦・褥婦および新生児（胎児）とその家族への援助の実施</li> <li>2. 引佐子育て支援ひろば</li> <li>3. 浜松市母子訪問</li> <li>4. 小児科クリニック（富士見子どもクリニック）における4か月児健康診査、予防接種など</li> <li>5. 思春期健康相談室（ピアーズ・ポケット）</li> </ol>			
アクティブラーニング	「実習科目です。」			
授業内のICT活用	なし			
評価方法	「助産学専攻科実習てびき」を参照してください。 実習態度 40%、継続事例の助産過程の展開 30%、助産所以外の実習記録 30%			
課題に対するフィードバック	継続事例の助産計画へのコメント、実習記録返却時のコメントでフィードバックします。			
指定図書	すべての指定図書を参考にしてください。			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
参考図書	実習中に随時提示します。			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN

事前・事後学修	<p>実習前に妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期、産後4か月までの母子の生理的な経過および各期に必要な保健指導の内容を自己学習しましょう。また、①母子保健に関する最新の動向、法律・施策ならびに地域における助産師の役割、②浜松市オリエンテーションの内容をもとに浜松市および近隣地域の既存資料から情報収集し、地域特性を把握、③思春期の健康課題、乳幼児の成長発達および発達課題、予防接種・ワクチンデビューについて予習（実習場所ごとに80分）しておきましょう。</p> <p>事後学修は、実習の振り返りをもとに事前学修の内容と実際を比較し、復習をしていきましょう（80分）。</p>
オープンエデュケーションの活用	なし
オフィスアワー	鈴木恵：時間については初回授業時に提示します。
実務経験に関する記述	本科目は、「助産師」または「小児科医師」の実務経験を有する講師が実務の観点を踏まえて教授する科目です。
メディア授業の実施について	状況に応じて提示します。

科目名	ウィメンズヘルス演習			
科目責任者	鈴木 恵			
単位数他	1 単位 (30 時間) 必修 通年			
DP 番号と科目領域	DP5 助産実践			
科目の位置付	保健医療福祉領域において助産師としての専門性を自覚し、多職種と連携、協働して、その責務を果たすことができる。			
科目概要	人の性の発達課題・発達段階を理解し、思春期における性と生殖をめぐる健康への支援に必要な基礎的能力を養う。思春期における性と生殖に関する健康教育の実施に向けて、企画・準備・実施・評価の過程の実践を通して性教育のスキルを学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 思春期の性の発達の特徴と課題を説明できる。</li> <li>2. 中学 1～3 年生と小学 4 年生を対象にした性教育の企画・準備・実施・評価を実施し、健康教育の意義を理解できる。</li> <li>3. 健康教育の実践を通して、集団技法のスキルを修得する。</li> <li>4. 思春期の健康教育における助産師の役割を理解できる。</li> </ol>			
授業計画	<p>&lt;担当教員名&gt; 久保田君枝、三輪与志子、鈴木 恵</p> <p>第 1-2 回：中学 1～3 年生・小学 4 年生への健康教育の企画書の作成</p> <p>第 3-5 回：指導案の作成</p> <p>第 6-9 回：実施準備</p> <p>第 10-11 回：リハーサル (学内、現地)</p> <p>第 12-14 回：実施 日時：小学 4 年生 (約 50 名) 2025 年 7 月 7 日 (月)</p> <p>中学 1～3 年生 (約 100 名) 2025 年 7 月 10 日 (木)</p> <p>場所：聖隷クリストファー小学校多目的室</p> <p>聖隷クリストファー中・高等学校のホール</p> <p>第 15 回：アンケートの集計・報告書作成</p> <p>※課題レポートの詳細については、講義内で説明する。</p>			
アクティブラーニング	<p>健康教育の企画・準備・実施・評価の過程を学生主体で実施します。</p> <p>本授業は、反転授業、ディスカッション、グループワークを取り入れて実施します。</p>			
授業内の ICT 活用	企画をまとめる過程で、グループで調べた内容についてグループ発表をプロジェクターを用いて発表します。			
評価方法	企画・準備・実施・評価の過程への参加態度 70% 課題レポート 30%			
課題に対するフィードバック	演習中のコメント、レポートへのコメントでフィードバックします。			
指定図書	<p>『助産学講座 2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 第 6 版』我部山キヨ子、武谷雄二、藤井知行他編著 医学書院</p> <p>『助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 第 6 版』我部山キヨ子編 医学書院</p> <p>『助産学講座 4 基礎助産学 [4] 母子の心理・社会学 第 6 版』我部山キヨ子、菅原ますみ編著 医学書院</p> <p>『助産学講座 5 助産診断・技術学 I 第 6 版』堀内茂子、片岡弥重子他編著 医学書院</p> <p>『最新保健学講座別巻 1 健康教育論 第 2 版』宮坂忠夫、川田智恵子、吉田亨編著 メジカルフレンド社</p>			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
【第 6 版】助産学講座 2 基礎助産学 2		医学書院	2021	9784260042048
基礎助産学[3] 母子の健康科学 第 6 版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260049917

基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 第6版	我部山 キヨ子	医学書院		9784260050036
【第6版】助産学講座 5 助産診断・技術学 1		医学書院	2021	9784260042260
参考図書	『助産師による思春期の健康教育』公益社団法人日本助産師会 保健指導部委員会編集・監修、日本助産師会出版 2020 『助産師のための性教育実践ガイド』川島広江・大石時子、医学書院 2005 『若者の性』白書 第8回青少年の性行動全国調査報告、日本性教育協会編、小学館、(第9回調査報告は2024年刊行予定) 『Sexuality/季刊セクシュアリティ』エイデル研究所 『思春期の性と恋愛 子どもたちの頭の中がこんなになっているなんて』アクロストン著 主婦の友社 2020 『おもしろ健康教育のつくり方』伊藤純子、高橋佐和子著 医学書院 2024 『思春期 男子の生理Q&A』日本家族計画協会 2017			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性のライフサイクルからみた思春期の位置づけについてグループワーク前に事前学修しましょう。</li> <li>・思春期の特徴、思春期のセクシュアリティ・発達課題についてグループワーク前に事前学修しましょう。</li> <li>・自分が思春期の小・中学生に伝えたいことは何か、またなぜそれを伝えたいのか、その根拠となる文献・データをあわせて、クラス内で共有できるようにまとめておきましょう。</li> <li>・文部科学省の「学校における性に関する指導について」および「平成29年 中学校学習指導要領」を確認しておきましょう。</li> <li>・健康教育論の講義の復習をしておきましょう。</li> <li>・自分たちが学修した内容、企画・準備計画書、保健指導企画書や指導案等は、すべてWebclassのeポートフォリオ・コンテナに保存し必要時活用しましょう。</li> </ul>			
オープンエデュケーションの活用	なし			
オフィスアワー	鈴木恵：時間については初回授業時に提示します。			
実務経験に関する記述	小・中学校の養護教諭と事前打ち合わせを行い、連絡・調整しながら進めます。			
メディア授業の実施について	状況に応じて提示します。			

科目名	助産学研究			
科目責任者	久保田 君枝			
単位数他	1 単位 (30 時間) 必修 通年			
DP 番号と科目領域	DP6 助産実践			
科目の位置付	助産師としての誇りを持つと同時に、自己に対する真摯な態度と品位を持ち続け、生涯に渡り知的好奇心をもって研鑽していくための能力を修得している。			
科目概要	<p>妊産褥婦および家族への支援が重要視されている、妊娠期から切れ目のない親子への支援が出産や子育ての質に繋がることを理解する。さらに、妊産褥婦の助産ケアを評価することが助産サービスの向上につながる。</p> <p>そこで、助産学研究では、継続事例の助産ケアの実際を通して、継続事例を振り返り、ケーススタディーにまとめる。その過程を通して、文献のクリティークや対象者へのケアについて考え、事例からの学びを深める。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究することの意義がわかる。</li> <li>2. 研究のプロセスがわかる。</li> <li>3. 研究デザインとケーススタディーがわかる。</li> <li>4. 助産院の継続事例をケーススタディーとしてまとめ、発表することができる。</li> </ol>			
授業計画	<p>第1回： 研究の意義について 久保田君枝</p> <p>第2回： 研究のプロセスについて 久保田君枝</p> <p>第3-4回： 文献の活用と検討 三輪与志子</p> <p>第5回： ケーススタディーの進め方、抄録の書き方・発表の仕方について 久保田君枝</p> <p>第6-13回： ケーススタディーのまとめと抄録作成 久保田君枝、三輪与志子、鈴木 恵</p> <p>第14-15回： ケーススタディーの発表 久保田君枝、三輪与志子、鈴木 恵</p> <p>* 第66回 日本母性衛生学会総会・学術集会 「母性衛生が拓く母子の笑顔」 開催日 2025.10.10 (金)～11日(土) 場所：東京都新宿区西新宿 2-2-1 会場：京王プラザホテル</p> <p>*学会参加レポートを10月20日(月)までに久保田に提出、レポート課題「学会に参加して、新しい知見を得たこと、参加して考えたこと」A4 2枚程度</p>			
アクティブラーニング	グループ学修、受け持ち制継続事例の助産計画・ケアの実際、ケーススタディーの発表			
授業内のICT活用	インターネットを活用して、文献検索を行い、学びに繋げる。			
評価方法	ケーススタディーのまとめ・抄録 80%、学会参加レポート 20%			
課題に対するフィードバック	ケーススタディーのまとめ・抄録作成への個別指導、レポートへのコメント			
指定図書	全ての指定図書を活用してください。			
	書籍名	著者	出版社	出版年 ISBN
参考図書	<p>『看護研究 Step by Step 第6版』黒田裕子著、医学書院 2022</p> <p>『助産学研究入門エビデンスにもとづく実践をめざして』スー・プロクター メアリー・レンフルー編集、前原澄子監訳 医学書院 2003</p> <p>『Start Up 質的看護研究 第2版』谷津裕子著、学研 2014</p> <p>『ケアの意味を見つめる事例研究』山本則子著 医学書院 2024</p>			
	書籍名	著者	出版社	出版年 ISBN

事前・事後学修	<p>継続事例の妊娠期の保健指導、分娩期のケア、産褥期のケア等を計画的に準備を行い、保健指導に繋げる。</p> <p>ケーススタディーのまとめ・抄録と発表の事前学修として、文献検索、文献の精読を行い、継続事例の仮のテーマを準備する（12月上旬まで）。</p>
オープンエデュケーションの活用	<p>本学の図書館ホームページ <a href="https://lib.seirei.ac.jp/library/">https://lib.seirei.ac.jp/library/</a>の文献検索データベース（調べる・探す）を検索できます。</p>
オフィスアワー	<p>金曜日の午後 研究室 1715</p> <p>久保田君枝 ; kimie-k@seirei.ac.jp</p>
実務経験に関する記述	<p>臨床において実務経験を有し、研究活動を通して、学会発表、学会誌への投稿などを行っている教員です。</p>
メディア授業の実施について	<p>状況に応じて提示します。</p>

科目名	宗教と生命				
科目責任者	森田 恭一郎				
単位数他	1 単位 (15 時間) 必修 通年				
DP 番号と科目領域	DP1 助産実践関連				
科目の位置付	建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた、高い倫理観と豊かな感性を取得し、隣人愛の実践者となるための素地を身につける。				
科目概要	聖書は人間の生命の起源、尊厳、維持などについて明確な教えを持っています。現代は科学技術の高度な発達、人間の生命について、さまざまな課題を突きつけています。聖書の教える生命の基本的な教えを丁寧にとりあげ、現代の問題を共に考えます				
到達目標	1. 生命の尊さについて習得する 2. キリスト教の視点から人の一生が有する価値・意味について考察する				
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション 聖書について：聖書を初めて読む人への基本的な概説</p> <p>第2回：生命を創造したのは神 隣人愛につて：イエスの教えと聖隷クリストファー大学の理念 I</p> <p>第3回：生命の尊厳 聖隷クリストファー大学の理念 II シフラとプア 人間の「霊・心・体」の「霊」について</p> <p>第4回：Biotechnology からくる問題 1980年代からの急速な technology の発達</p> <p>第5回：生命を大切にせる教育 祈りについて</p> <p>第6回：宗教教育の大切さ 安息日教育</p> <p>第7回：人生における苦しみ 「ヨブ記」に学ぶ苦難について</p> <p>第8回：死の克服 イエスの十字架の意味 死の受容について 死産を知らされた親への慰め</p>				
アクティブラーニング	なし				
授業内のICT活用	なし				
評価方法	期末テスト (100%) によって評価する				
課題に対するフィードバック	なし				
指定図書	なし				
	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
参考図書	なし				
	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN

事前・事後学修	キリスト教関連の文献や辞書の利用 聖書通読 大学礼拝への出席
オープンエデュケーションの活用	なし
オフィスアワー	授業に関する質問は授業時に直接もしくは教務事務センターを介して受け付けます。
実務経験に関する記述	本科目は牧師の実務経験を有する講師が実務の観点を踏まえて教授する科目です。
メディア授業の実施について	なし

科目名	家族社会学				
科目責任者	笹原 恵				
単位数他	1 単位 (15 時間) 必修 春セメスター				
DP 番号と科目領域	DP2 助産実践関連				
科目の位置付	助産師として必要な、人間や環境への思いやりを大切にし、母子およびその家族を尊重し、助産師としての役割と責任を果たす能力を修得する。				
科目概要	本講義では、恋愛と結婚、晩婚化やシングル化、また生殖技術の変化がもたらした親子の問題など、現代の家族が直面する諸問題を考えることを通して、人々のもつ社会的側面への理解を深め、家族のあり方について考える。また、その中で、家族社会学の基礎的な概念や理論について学び、社会学的な思考、社会科学な視点から人々と家族、社会を考える視点を養成する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在の家族が直面する諸問題を社会学的に理解する。</li> <li>2. 人々の価値観や家族観の多様化、家族の多様化について理解する。</li> <li>3. 現代家族の諸問題を理解したうえで、自身の家族観を相対化する。</li> <li>4. 生殖技術の変化が家族にもたらす影響等について理解する。</li> <li>5. 性の多様性を理解し、それが家族形成に関係していることを理解する。</li> </ol>				
授業計画	第1回：ガイダンス～「家族」って何だろう 第2回：生殖技術の変化と親子関係(1) 複雑化する親子関係・誰が「親」か 第3回：多様な性（セックス・セクシュアリティ・ジェンダー） 第4回：晩婚化・非婚化・シングル化・家族形態の多様化 第5回 結婚・離婚～夫婦関係を考える～ 第6回 子どもの人権～夫婦関係を考える～ 第7回：生殖技術の変化と親子関係(2) 不妊と子どもをもつことの意味―代理出産を考える 第8回：まとめ				
アクティブラーニング	*授業中に資料や映像資料を示し、それに対する受講生の意見を述べてもらい、受講生どうしの意見交換を行う *次回の授業資料の一部を予め配付し、次回の授業までに読んできて意見を発表するなど一部に反転授業を入れる。 *授業ごとに、振り返りを含めた小レポートを課すので、受講生は授業を振り返りつつ、自身の考えをまとめる ⇒ 小レポートへのリプライを次回の授業で行う。				
授業内のICT活用	なし				
評価方法	評価は①毎回の小レポート(70%)、②資料分析レポート(15%)、③最終レポート(15%)による。 →①講義のテーマをきちんととらえ、自分自身で考えているか、それを自分の言葉で表現しているかを評価する。 →②資料分析レポートは自身の関心に応じた資料・記事を探し、その概要をまとめるとともに、それについての自身の意見をきちんとまとめているかを評価する。 →③最終レポートは授業全体の振り返りを通し、自身の考え方や価値観、他者の考え方や価値観を相対化できたかどうか、家族について考える力がついたかどうかを評価				
課題に対するフィードバック	*小レポートに対する応答、コメントは次回の授業で行う。 *資料分析レポート、最終レポートについてのコメントを付する。				
指定図書	なし				
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	

参考図書	授業中に随時連絡			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・事後学修	<p>授業開始後に、授業で取り上げる問題や現代の家族問題について説明し、それに関連した記事や書籍などを読むことを課題とし、事前学習とする。また授業後には授業の振り返りを含めた出席レポートを提出する。最終課題として、自身の関心のあるテーマ（授業に関連するもの）を選び、文献分析レポートを作成するとともに、授業全体の振り返りのレポート（最終レポート）を作成する。</p> <p>資料を読み込んだうえで、資料分析レポートを提出してもらう。</p> <p>① 授業前に配付した資料等を読んでくる（30分程度、第3～8回）</p> <p>② 授業後に授業中に配付した「出席レポート」を提出する（40分～1時間程度、全回）</p> <p>③ 資料分析レポートを作成する（5～6時間。文献を読む時間を含む）。</p> <p>④ 最終レポートを作成する（1時間程度）。</p>			
オープンエデュケーションの活用	なし			
オフィスアワー	授業に関する質問は授業時に直接もしくは教務事務センターを介して受け付けます。			
実務経験に関する記述	なし			
メディア授業の実施について				

科目名	生命倫理論			
科目責任者	鈴木 恵			
単位数他	1 単位 (15 時間) 必修 通年			
DP 番号と科目領域	DP1 助産実践関連			
科目の位置付	建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた、高い倫理観と豊かな感性を取得し、隣人愛の実践者となるための素地を身につける。			
科目概要	科学・医療技術の進歩によって引き起こされる倫理的・社会的問題を理解し、「隣人愛」に基づき、人間として・医療専門職として QOL の向上について学修する。また、グループワークや討論を通して、生命倫理上の課題を考える機会とする。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助産師は生命の尊厳を基盤とした職業人として、生命倫理の重要性を説明できる。</li> <li>2. 助産師は人間の生命と健康にとっての環境について、生命倫理の視点から説明できる。</li> <li>3. グループワークや討論を通して、医療専門職として生命倫理上の課題について調べ、まとめ、報告することができる。</li> </ol>			
授業計画	<p>第 1-3 回：生命倫理とは <span style="float: right;">鳥居裕一</span></p> <p style="padding-left: 40px;">①人工妊娠中絶と親の権利・胎児の権利</p> <p style="padding-left: 40px;">②合併症に伴う妊娠中期中絶</p> <p style="padding-left: 40px;">③胎児減数中絶</p> <p style="padding-left: 40px;">④出生前遺伝子診断</p> <p style="padding-left: 40px;">⑤生殖技術と法的規制</p> <p style="padding-left: 40px;">⑥臨床倫理（医学的適応・患者の意向・QOL・公平性）</p> <p>第 4 回：伝医学総論およびメンデル遺伝を中心とした遺伝のメカニズム <span style="float: right;">西尾公男</span></p> <p>第 5 回：遺伝子、染色体についての一般知識と遺伝学的検査の概要 <span style="float: right;">西尾公男</span></p> <p>第 6 回：遺伝カウンセリングと出生前診断、遺伝相談 <span style="float: right;">西尾公男</span> （倫理的、社会的、法的問題を含む）</p> <p>第 7-8 回：遺伝相談 I・II グループワーク、討論 <span style="float: right;">西尾公男</span></p>			
アクティブラーニング	「遺伝相談」では、グループワーク、討論を行います。			
授業内の ICT 活用	事例の教材 DVD を視聴し、講師が解説します。			
評価方法	筆記試験 80%、課題レポート 20%			
課題に対するフィードバック	レポートの返却時にフィードバックします。			
指定図書	『助産学講座 2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 第 6 版』我部山キヨ子、武谷雄二、藤井知行他編著、医学書院			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
【第 6 版】助産学講座 2 基礎助産学 2		医学書院	2021	9784260042048
参考図書	『出生と死をめぐる生命倫理』仁志田博司著 医学書院 2015			
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
事前・事後学修	<p>倫理綱領について 120 分程度を目安に自己学習を行ってください。</p> <p>「遺伝相談」グループワークの事前学修は、テーマに関する情報収集・発表準備を 80 分程度行ってください。</p> <p>事後学修は、講義内容やフィードバックをもとに 1 コマにつき 40 分程度の復習をしてください。</p>			

オープンエ デュケーシ ョンの活用	なし
オフィス アワー	鈴木恵
実務経験に 関する記述	本科目は、「医師」の実務経験を有する講師が、実務の視点を踏まえて教授する科目です。
メディア 授業の実施 について	状況に応じて提示します。